

事前のお知らせ

練馬区独立70周年記念事業

全集に収録されていない、「文豪・文士たち」による貴重な寄稿文も紹介！！

石神井公園ふるさと文化館 特別展

「映画に魅せられた文豪・文士たち—知られざる珠玉のシネマガイドー」を開催

と き 平成29年4月22日(土)～6月11日(日) 午前9時～午後6時 ※月曜休館

と ころ 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町5-12-16)

22日から、石神井公園ふるさと文化館で「映画に魅せられた文豪・文士たち—知られざる珠玉のシネマガイドー」を開催します。

川端康成、三島由紀夫、林芙美子らを筆頭に、昭和を代表する文豪・文士たちが映画雑誌や新聞に寄稿した映画評・映画論を、当時の映画ポスターや雑誌などの貴重な映画資料と共に紹介します。その他、かつて練馬に暮らしていた、芥川賞作家の松本清張や、直木賞作家の檀一雄によるシネマガイドも展示します。

【見どころ】

文豪・文士の映画評は、一般的な映画批評家と一線を画す独特で瑞々しい文体で、映画に対する想いが率直に綴られており、新しい映画の見方を提示しています。

映画ファンには、映画作品を新しい角度から見つめることのできる絶好の機会となり、一方、映画や文学に馴染の薄い方にも、映画の面白さ、作家への興味が沸き立つような、作品との出会いとなる展示です。



▲チラシ

【展示資料例】



『第三の男』  
(1952年日本公開作品)



『ローマの休日』  
(1954年日本公開作品)



『風と共に去りぬ』  
(1952年日本公開作品)



『カサブランカ』  
(1946年日本公開作品)

全集に収録されていない、貴重な寄稿文も紹介！！

林 芙美子 × 『情婦マノン』(全集未収録)

「マノンが、どんな汚いところでも、愛しあっているもの同士には、汚いところはない筈だと云った言葉が、いつまでも私の心に残った。(中略)

只、マノンの浮気な情痴のみを、この画面から見るのでは意味がない。結末に到って、始めて、此作品の思想が、私達の胸をゆすぶる。ばらばらに崩れたような筋でありながら、少しも、敗けるものがない。」

「情婦マノンを観て」 林 芙美子『小説新潮』昭和25年10月号より

## <関連イベント>

### 1 【講演会】『小説と映画の蜜月時代』

講師：金井 美恵子（作家）

日時：平成 29 年 5 月 13 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 30 分

会場：石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室

定員：100 名（申込者多数の場合は、抽選） 参加費：無料

申込：往復はがきまたはメールにて申込【5月6日（土）必着】

### 2 【講演会】『出版人のひとりごと—映画と私—』

講師：早川 浩（株式会社早川書房 代表取締役社長）

日時：平成 29 年 5 月 27 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

会場：石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室

定員：100 名（申込者多数の場合は、抽選） 参加費：無料

申込：往復はがきまたはメールにて申込【5月16日（火）必着】

#### 【講演会の申込方法】

往復はがきまたはメール①講演会名②氏名（1名まで）、ふりがな③住所④電話番号を記入の上、お申込みください。

※メールのタイトルは「（講演会 1 または 2）申込」と記載してください。

※1 通のハガキ・メールにて、1 講演会・1 名様の申込とします。

<<往復はがきの送り先>>

〒177 - 0041 東京都練馬区石神井町 5-12-16 練馬区立石神井公園ふるさと文化館宛

<<メールの送り先>>

event-furusato@neribun.or.jp

### 3 【DVD による映画上映会】

会場：石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室

定員：100 名（当日先着順）

※各作品上映当日の午前 9 時～午後 0 時 30 分の間、2 階企画展示室受付にて整理券を配布します（先着順）。

参加費：無料

A 『風と共に去りぬ』（約 230 分） 4 月 30 日（日） 午後 1 時～午後 5 時 20 分

B 『カサブランカ』（約 100 分） 5 月 21 日（日） 午後 1 時～午後 3 時

C 『戦争と平和』（約 210 分） 6 月 2 日（金） 午後 1 時～午後 5 時

【問い合わせ】石神井公園ふるさと文化館 電話 03-3996-4060